

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 27 年 3 月 31 日作成

事務事業名	国内姉妹都市交流事業 □ 実施計画事業	所属部局	総合政策部	単位番号	2006		
		所属課室	政策推進課	課長名	保坂 正彦		
基本政策	I 情報と連携の都市づくり	所属担当	行政運営・統計担当	担当者名	中澤 仁一		
政策	04 國際交流・地域間交流の推進	予算科目	会計	名称	款	項	目 細目 細々目
施策	06 交流活動の推進		01	一般	02	01	07 070 03
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠					
事業の内容 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 北海道津別町との交流(津別町物産展への訪問・本市のこころあつたか祭りでの受入れ)を行う。 北海道の道東、津別町との交流は、市内にあった会社が津別町に工場を新設したことから交流が始まった。 津別町や南アルプス市のお祭りで特産品の販売を行い産業・文化を通じた交流が深まっている。	事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	
		朝食費	10	使用料	0		
		旅費	224				
		消耗品費	80				
		通信運搬費	119				
				計			433

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 北海道津別町と交流(津別町物産展への出店・本市のこころあつたか祭りでの出展依頼。)
27年度活動予定	北海道津別町と交流(津別町物産展への出店・本市のこころあつたか祭りでの出展依頼。)
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	南アルプス市民
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	物産交流展を開催する
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	交流が深まる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:津別町への訪問者	人
イ:	
ウ:	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:南アルプス市民	人
イ:	
ウ:	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:開催回数	回
イ:	
ウ:	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:姉妹都市との交流活動に満足している市民の割合	%
イ:	

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	430	515	433	528		
		事業費計 (A)	千円	430	515	433	528	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100		
		人件費計 (B)	千円	455	455	455	455	0	0
		(A)+(B)	千円	885	970	888	983	0	0
活動指標		ア:人	3.0	3.0	3.0				
対象指標		イ:							
成果指標		ウ:							
上位成果指標		ア: %	19.8	18.8	25.9				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成6年10月16日、旧檜原町と友好都市提携を調印。津別町との交流は、市内にあった会社が津別町に工場を新設したことがきっかけとなる。平成16年10月17日、南アルプス市と姉妹都市協定を締結した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	開始当時の交流事業は、子供や一般市民の募集を行い、相互の交流を深めた。その後は津別町と本市のイベントの際に特産品の販売を行っている。また、職員人事交流を実施した。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成20年度・21年度は人事交流を実施。平成22年度・23年度は希望者なし。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	現状維持が適切である。

事務事業名	国内姉妹都市交流事業	所属部	総合政策部	所属課	政策推進課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域間交流の推進を図り、他の地域の人々との出会いや異なる文化、風土を体験し交流を深める。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 物産販売による知名度アピールと人事交流を合わせて実施しているため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域間交流の推進を図り、他の地域の人々との出会いや異なる文化、風土を体験し交流を深める。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 姉妹都市との交流事業として毎年問題点等を改善しつつ継続してきた。相手方のイベントに参加する状況であるため、市独自の取組みが難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 津別夏まつり物産交流で本市の特産品を心待ちにしている本市のこころあつたか祭りで市民が津別の物産を心待ちにしている人たちがいるため。
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現地で物産を行う職員数も最低限の人数であり削減の余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 国内交流が目的であり、物産事業を現地で行う人数としては職員数は必要最低限の状態である。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 こころあつたか祭りはだれでも参加可能な祭りであり公平公正であるといえる。
効率性評価	⑩事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現地で物産を行う職員数も最低限の人数であり削減の余地はない。
公平性評価	⑪人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 国内交流が目的であり、物産事業を現地で行う人数としては職員数は必要最低限の状態である。
公平性評価	⑫受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 こころあつたか祭りはだれでも参加可能な祭りであり公平公正であるといえる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	物産交流という性質が強いので、商工会や観光協会等、観光商工部門との連携ができれば事業の効果により広がりができる可能性がある。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了
(2) 改革改善案について	コスツ水準 ↓ 成 果 維 持 水 準 低 下
現状維持。	※ 廃止・休止の場合は記入不要
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度
現状維持。	成果優先度評価結果 ⑧
	コスト削減優先度評価結果 ⑥